

平成23年2月18日

江別市長 三好 昇 様

江別市廃棄物減量等推進審議会
会 長 押 谷 一

江別市一般廃棄物処理基本計画について（答申）

平成22年10月22日付22環減第51号により諮問のありました標記の計画について、次のとおり答申します。

答 申 書

江別市は、平成9年度から平成23年度までの15か年を計画期間とする現計画や、この間に制定された循環型社会形成推進基本法その他の法律等を背景とした5年毎の見直し計画に基づき、これまで様々なごみ処理施策の展開や施設整備に取り組んできており、本市のごみ処理の水準は、既に全国・全道水準より高いレベルにある。このことは、ごみ排出量、リサイクル率、最終処分率等のごみ処理水準の指標により示されている。

しかし、地球環境保全のため、循環型社会の形成という国の目標の下、3Rの推進とともに適正なごみ処理が引き続き求められることとあわせて、人口の減少、世帯の少人数化等の社会環境の変化や消費、ごみ排出等市民ニーズの変化も見られる。このようなことから、現計画を1年前倒しして新たな計画を策定することが必要とされた。

なお、本市のごみ処理方式を規定する、環境クリーンセンターや最終処分場といった中心のごみ処理施設については、耐用年数や現行の利用状況に鑑みて、この計画期間においては更新が必要な時期とはならないことから、基本的なごみ処理方式は現行と変わらないことを前提とする。

このような背景や前提条件の下、本審議会では、平成21年7月より現状の課題等について審議を重ねてきたところであるが、昨年10月22日に市長より、新たな江別市一般廃棄物処理基本計画案が示され、その策定について諮問を受けた。

それ以降、審議を重ね、昨年12月21日にそれまでの取りまとめ報告を行った後、パブリックコメントで寄せられた市民意見についても検討したところである。

この結果、新計画の計画期間は、今日の社会変化のスピードに鑑み、平成23年度から平成32年度までの10年間とし、ごみ処理基本計画にあっては、基本目標を「市民・事業者・行政の協働による循環型社会の形成」とした。なお、その達成に向けては「3Rの推進」、「適正なごみ処理の確保」、「市民の視点に立ったごみ処理システムの構築」、「経済的・効率的なごみ処理の推進」という4つの基本方針と、その下に34の施策を設けるとともに、数値目標として「排出抑制の目標値」、「資源化の目標値」、「最終処分の目標値」を掲げている。

また、生活排水処理基本計画にあっては、本市の場合、既に多くは公共下水道で対応されているが、残る一部について引き続き合併処理浄化槽の普及等を目指すものであり、これらはいずれも適当であることから、別紙計画案のとおり答申する。

なお、答申に当たり、特に意見を付すので、計画の推進に当たっては留意願いたい。

付 帯 意 見

- 1 ごみ処理にあつては、循環型社会形成推進基本法が示すように、発生・排出抑制が第一であるが、これは個人のライフスタイルに係る事項であり、一朝一夕に出来るものではない。環境教育（学習）が大事であり、小さな取組みであっても根気強く、継続することが必要である。
- 2 形ある全ての物は、何れはその役目を終え“ごみ”となる。したがって、ごみと無縁の者はなく、全ての者がごみの排出者となり得る。
こうしたことから、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で必要な役割に取り組むべきで、行政はこの3者協働についても環境整備をする必要がある。
- 3 家庭から排出されるごみは、燃やせるごみが多くを占めているが、平成20年10月の分別区分の変更以降はその割合が更に高まっていることから、この量の如何が全体を左右する。燃やせるごみの減量は、その約30%を占める生ごみ対策と資源物として出されるべき紙類等の適正排出が肝心であり、市はその取組みを進めるべきである。
また、事業系ごみについては、これまでの排出抑制や分別徹底についての啓発を継続するほか、その処理責任に鑑み、適正排出に向けた指導の強化も必要である。
- 4 市民の視点に立ったごみ処理システムの構築については、大型ごみ収集の開始など平成22年度における先行実施により進んでいるが、今後も社会環境や市民ニーズの変化を捉え、適切に対応することが必要である。
- 5 本市においては、排出量やリサイクル率等のごみ処理の水準は他市に比し高いレベルにあるが一方、1人当たりのごみ処理費用は他市より高額となっている。
ごみ処理水準の維持も大切なことではあるが、今日の経済状況では、その負担を極力抑えることも大事なことである。長期包括契約により委託している環境クリーンセンターについては、適正な維持管理による長寿命化を図り、また、清掃事業全般に係る効率化を進めることにより、経費を抑制していくことが必要である。